

強化型プラスチック敷板®

強化型プラスチック敷板®

強化型プラスチック敷板®

こうじばん

UltraX

Ultra

高密度ポリエチレンバージン材製

高密度ポリエチレンバージン材製

スーパーエンジニアリングプラスチック
超高分子量ポリエチレン製
Ultra High Molecular Weight Polyethylene



強化型プラスチック敷板®: 登録商標
こうじばん®: 登録商標
実用新案取得済み

強化型プラスチック敷板®は、超硬質を実現した本格的な敷板です。軟弱地でも凹みが少なく、車両の通行をさまたげません。工事現場のめかるみを改善するための敷板は、硬くなければ役に立ちません。

強化型プラスチック敷板 こうじばん

こうじばんは材料と製造方法にこだわり、他社にはできない超硬質な敷板を実現しました。大手樹脂メーカーからバージン材を調達しています。そのため敷板のどの部分でも均一な強度を保っております。高品質な高密度ポリエチレンを溶かし、一枚一枚を最適の圧力で型圧縮して製造しております。そのため溶けた樹脂が固まるときにできやすい気泡や層が、こうじばんにはありません。そして、樹脂に混ぜ物をしないで敷板を超硬質にすることを可能にしました。



強化型プラスチック敷板こうじばんカット断面

強化型プラスチック敷板 UltraX

強化型プラスチック敷板 Ultra

オーバル（楕円）の形状をもつオーバルすべり止めは、立体的なため、地面をつかみ敷板がズレない、タイヤが滑りにくいという特徴を持ちながら、すべり止めが密集しているため歩行者が歩きやすい、というマルチな機能を持ちます。

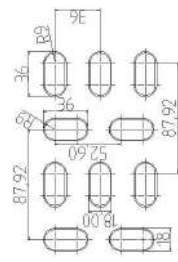
UltraXはこうじばんと同じ高密度ポリエチレンバージン材を使用し、Ultraはスーパーエンジニアリングと呼ばれる超高分子量ポリエチレンを使用しています。



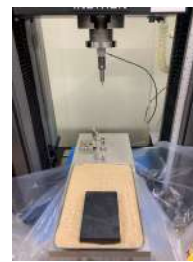
オーバルすべり止め

オーバルすべり止め効果比較

オーバルすべり止めは地面をしっかりとつかみ、敷板がズレないように設計されています。すべり止め効果を第三者ラボで試験しました。小さな試験片を砂の上に置いて、試験片の横から外圧をかけて試験片がズレ始める瞬間の外圧最大値を計測しました。静止摩擦力とよばれる数字です。静止摩擦力の数字が大きいほど、敷板がズレません。



ズレないデザイン



試験機

すべり止めタイプ	オーバルすべり止め	別のすべり止め		
		A	B	C
静止摩擦力 (N)	0.755	0.614	0.656	0.653

試験方法: JIS K7125 試験手順: 試験片を砂の上に置き、試験片に 400g の錘を載せ安定させ、錘を除去して試験開始

ここが違う！ 5つの理由



1 製造方法が違います

こうじばんと *Ultra* は、大型プレスで1枚1枚を型圧縮製造しています。材料の樹脂が型のなかで型の隅々まで均等に圧縮され、完成した敷板に気泡や層ができることはありません。

そのため、超硬質を実現した本格的な敷板です。軟弱地でも凹みが少なく、車両の通行をさまたげません。

超硬質なので軟弱地で走行安定性が違います



こうじばん



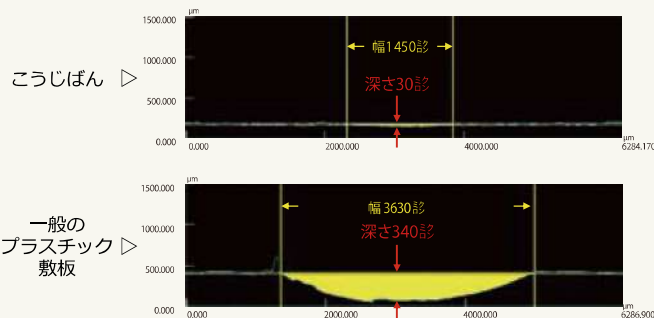
同じ板厚でも柔らかい敷板

2 材質が違います

強化型プラスチック敷板®は「高密度ポリエチレンバージン材」や「超高分子量ポリエチレン」で製造されています。ともに、一般のポリエチレンより分子量が極めて高いため高品質な敷板を実現しました。

そのため、長年のご使用に耐える極めて低い劣化度を実現しました。摩耗度も大きく異なります。

5キロの荷重をかけた金属球を30分間こすり磨耗を計測しました。



3 対応温度が違います

強化型プラスチック敷板®は、高密度ポリエチレンバージン材や超高分子量ポリエチレンで製造されています。そのため、マイナス30℃からプラス60℃の外気温に適用しています。

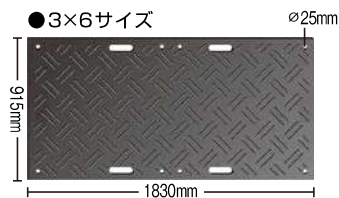
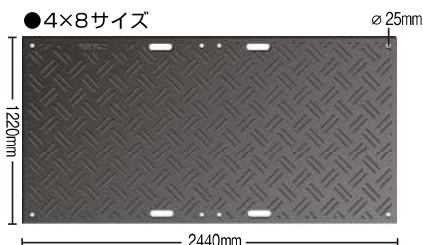
4 カラーを選べます

強化型プラスチック敷板®は、ベージュのカラーを選ぶことができます。

ベージュは視認性が高く安全、熱を吸収しにくく夏場に熱くならない、現場を明るくし、長年の使用で付着しがちな土汚れが目立たない、メリットがあります。

5 NETISのVE取得済みです

こうじばんは、超硬質であること、立体すべり止めがあることを評価され、国土交通省が活用を促進する新技術としてNETISに登録されたのち、VE評価を取得しています。

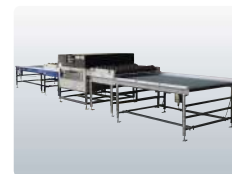


平板金具・門型ピン



敷板を連結して長期敷設時や飛散防止に使用します。

こうじばんウォッシュ！



高圧洗浄で1時間に最大90枚を洗浄します。

3種類のすべり止め

山型すべり止め こうじばん®

形状: ならかな山の形をしたラインが2本並ぶデザインです。山の頂の高さは8^{ミリ}です。

効果: 地面をしっかりとつかみ敷板がズレません。



クロスすべり止め こうじばん®

形状: 小さな十文字が並ぶデザインです。高さ2^{ミリ}で平坦な形状です。

効果: コンクリートやアスファルトなど舗装路に優れています。



オーバルすべり止め UltraX・Ultra

オーバル(楕円)を縦方向・横方向に組み合わせた特殊なデザインです。ひとつのパターンで、タイヤが滑らない、人が歩きやすい、敷板がズレない、理想のすべり止め効果を実現しました。

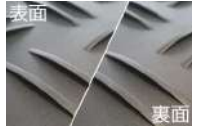


タイヤを点で支えるためスリップしにくい
点字ブロックのように人が歩きやすいレイアウト

選べる5つのタイプ

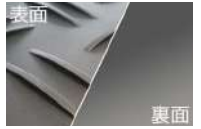
山型/山型タイプ こうじばん®

敷板の両面に同じ、山型すべり止めを配しています。山型すべり止めは、しっかり地面をつかみ敷板がズレません。タイヤのスリップ防止にも役立ちます。山型/山型タイプは軟弱地に適しています。軟弱地でも舗装路でもご使用する機会があれば、山型/クロスタイプを推奨します。



山型/フラットタイプ こうじばん®

敷板の片面に山型すべり止めを配し、もう片面にはすべり止めがまったくないタイプです。すべり止めがまったくない面は、御影石やインターロッキングなどセンシティブな路面の保護に役立ちます。



山型/クロスタイプ こうじばん®

敷板の片面が山型すべり止め、もう片面にはクロスすべり止めを配しています。それぞれの特性を活かしリバーシブルに使うことで、軟弱地にも舗装路にも使用できます。

軟弱地では、山型すべり止めを下にして敷きます。山型すべり止めがしっかり地面をつかみ敷板がズレません。舗装路では、クロスすべり止めを下にして敷きます。



両面オーバルタイプ UltraX・Ultra

敷板の両面に同じ、楕円形のオーバルすべり止めを配しています。オーバルすべり止めは、タイヤが滑らない、人が歩きやすい、敷板がズレない、という3つをひとつのパターンで実現した究極のタイプです。



片面オーバルタイプ UltraX・Ultra

敷板の片面に楕円形のオーバルすべり止めを配し、もう片面にはすべり止めがまったくないタイプです。すべり止めがまったくない面は、御影石やインターロッキングなどセンシティブな路面の保護に役立ちます。



製品仕様

製品名称	強化型プラスチック敷板こうじばん						強化型プラスチック敷板UltraX				強化型プラスチック敷板Ultra	
	4 x 8			3 x 6			4 x 8		3 x 6		4 x 8	
すべり止め	山型/山型	山型/フラット	山型/クロス		山型/クロス		両面オーバル	片面オーバル	両面オーバル	片面オーバル	両面オーバル	片面オーバル
型番	KB48-YY1	KB48-YF1	KB48-YC1	KB48-YC2	KB36-YC1	KB36-YC2	ULX48-R	ULX48-K	ULX36-R	ULX36-K	UL48-R	UL48-K
カラー	ブラック	ブラック	ブラック	ベージュ	ブラック	ベージュ	ブラック					
サイズ	2440x1220 ^{ミリ}			1830x915 ^{ミリ}			2440x1220 ^{ミリ}		1830x915 ^{ミリ}		2440x1220 ^{ミリ}	
厚さ	12.7 ^{ミリ} + 山型8 ^{ミリ} x 2	12.7 ^{ミリ} + 山型8 ^{ミリ}	12.7 ^{ミリ} + 山型8 ^{ミリ} + クロス2 ^{ミリ}		12.7 ^{ミリ} + 山型8 ^{ミリ} + クロス2 ^{ミリ}		12.7 ^{ミリ} + 丸4 ^{ミリ} x 2	12.7 ^{ミリ} + 丸4 ^{ミリ}	12.7 ^{ミリ} + 丸4 ^{ミリ} x 2	12.7 ^{ミリ} + 丸4 ^{ミリ}	12.7 ^{ミリ} + 丸4 ^{ミリ} x 2	12.7 ^{ミリ} + 丸4 ^{ミリ}
重量	39 ^{キログラム}			22 ^{キログラム}			39 ^{キログラム}		22 ^{キログラム}		39 ^{キログラム}	
耐荷重	120 ^{キログラム} 車対応											
連結穴	8						4					
手持ち穴	4											
対応温度	マイナス30℃からプラス60℃まで											
材質	高密度ポリエチレン(バージン材)										超高分子量ポリエチレン	
製造方法	型圧縮製造						押出製造				型圧縮製造	
難燃性	国際難燃性試験 UL-94HB基準合格											
リサイクル	リサイクル可能で産業廃棄不要											

2010年発売以来、北海道から沖縄まで、建機レンタル会社、ゼネコン、建設・土木会社、電力・電設会社、通信会社、住宅メーカー、クレーン建設会社、農業協同組合、森林管理局、自衛隊といった幅ひろい多くの皆さまに、軟弱地に工事車両を走行させたり、走行痕を残さないようにしたりする目的で、超硬質ですべり止め効果の高い「強化型プラスチック敷板®」はご活用いただいております。

海外でも長年の実績があり、民間企業はもちろん、さまざまな国のミリタリーや国連などの国際機関にも活用され、ロンドン・オリンピックでは組織委員会から一括採用され27,000枚が使用されました。



プラスチック敷板使用について禁止・注意事項

禁止事項

- 穴や溝の蓋 プラスチック敷板には適度の柔軟性があります。穴や溝をふさぐ蓋としての利用は危険ですのでお止めください。
- アウトリガー用敷板 プラスチック敷板には適度の柔軟性があります。アウトリガー用敷板の代替としての利用は危険ですのでお止めください。また、地表が不陸で凸凹のある場所において、プラスチック敷板は地表を平坦にする性能はないため、高所作業車など安定を要する車両を停止しての作業は危険ですのでお止めください。
- 飛散防止対策なし 軽量のため、悪い条件が重なると突風やタイヤのトルクで飛ぶ可能性があります。敷板を地面に固定する、もしくは敷板と敷板とを連結するなどの飛散防止対策を講じてください。台風など危険が予想されるときは敷板を撤去ください。
- 急発進・急停止・急回頭 敷板のうえでは車両は徐行してください。とくに舗装路の上では車両の急な動きにより敷板が動く可能性がありますので、飛散防止対策を講じてください。

注意事項

- 重機の当て プラスチック敷板は圧縮強度は高いものの、瞬時の鋭い衝撃には弱い一面があります。重機のバケツで叩くなどの行為は、割れる可能性がありますのでお止めください。
- 鉄キャタ 鉄キャタでの繰返し走行はプラスチック敷板の表面を傷めます。特に、旋回は表面を削ることがあります。
- バーナー熱 バーナー熱や溶接の火花を直接あてると部分的に溶ける原因となります。
- 素手での取扱い 作業の際は安全のため、作業用手袋の装着をお願いします。


株式会社こうじばん

〒426-0034 静岡県藤枝市駅前1-15-1 マークスザタワー1203

倉庫：横浜・大阪・仙台・岐阜

公式ホームページ： <https://www.koujiban.jp/>

メールアドレス： team@koujiban.jp

 0120-9797-98

 FAX 03-6369-3755

※このリーフレットは2024年2月の制作です。